

岡山の美術 特別展示

「日本に向けられたヨーロッパ人の眼
ジャパントゥデイ4」から20年

撮影された岡山の人と風景

— 県内作家の近作とともに

Photographing the People and Scenery of Okayama
Stay Productions in the Exhibition "European Eyes on Japan 4" (2002)
With Recent Works by Photographers in Okayama Prefecture

2022.6.3 FRI
— 7.10 SUN

主催：岡山県立美術館
後援：岡山県教育委員会
岡山県郷土文化財団
公益社団法人岡山県文化連盟

開館時間／9：00－17：00

6月3日（金）は10：00開館

6月25日（土）は19：00まで（入館は閉館30分前まで）

休館日／月曜日

会場／地下展示室

観覧料／一般350円、*大学生250円、*65歳以上の方170円、

*高校生以下無料

(*学生証、年齢を確認できる証明書をご持参ください)

キャンパスメンバーズの学生は無料

障がい者手帳持参者とその介護者1名は無料

※同時開催の「生誕100年記念 高木聖鶴展」観覧券でもご覧いただけます。

杉浦慶侘 《神さまの殺し方 No.14》 2018

下道基行 写真集《bridge》 2015 岡山県立美術館蔵





柴田れいこ 《高矢君子》(「届かぬ文 戦没者の妻たち」より) 2012
小林正秀 《山雪》より 2020 岡山県立美術館蔵

EU・ジャパンフェスト日本委員会(東京都)は、1999年から写真プロジェクト「日本に向けられたヨーロッパ人の眼/ジャパントゥデイ」を実施しています。ヨーロッパの写真家を招聘して、「現代の人間と暮らし」というテーマで撮影を依頼します。2001年(第4回)には岡山県が撮影地になりました。オランダ人写真家のハンス・ファン・デル・メール(1955-)とベルギー人写真家のアン・ダームス(1966-)が来岡のうえ撮影して、成果は翌02年に当館の展覧会で紹介されました。

展覧会から20年を記念して、この滞在制作のほか、岡山県ゆかりの写真家4名による本県の人物と風景を撮影した近作を比較のために紹介します。

津山市在住の柴田れいこ(1948-)は、女性像に着目しました。《Sakura さくら 日本人と結婚した外国人女性たち》と、《届かぬ文 戦没者の妻たち》(いずれも写真集として出版)を取り上げます。杉浦慶侘(1980-)、下道基行(1978-)と小林正秀(1980-)は、いずれもI氏賞受賞作家です。杉浦は《神さまの殺し方》で、岡山県の山々に内在する深みを探ります。下道は橋のような構造物に着目する、意欲的な写真集《Bridge》を手がけました。小林は美作地域を《土を踏む》《美作》《山雪》と題した連作にまとめます。3人とも人のいない風景からこの地域を捉えている作品です。

関連事業(※いずれも要観覧券)

1. 国内出品作家によるギャラリートーク

講師	杉浦慶侘	6月11日(土)
	柴田れいこ	6月18日(土)
	小林正秀	6月25日(土)
	下道基行	7月2日(土)
	各日	14:00-14:30 地下展示室

2. 学芸員によるギャラリートーク

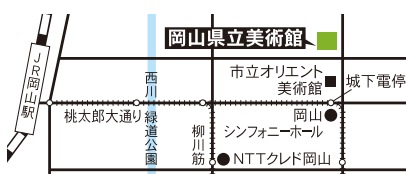
講師	廣瀬就久(主任学芸員)
	7月9日(土) 14:00-14:45 地下展示室



[交通案内]

JR岡山駅後楽園口(東口)から
徒歩 約15分
路面電車 東山行「城下」下車 徒歩3分
岡電バス 後楽園、藤原団地行き「天神町」
下車すぐ
宇野バス 四御神/瀬戸駅/片上方面行き
「表町入口」下車 徒歩3分

※ご来館の際は、できる限り公共交通機関をご利用ください。



 岡山県立美術館
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒700-0814 岡山市北区天神町8-48
Tel. 086-225-4800 Fax 086-224-0648
<https://okayama-kenbi.info/>

※新型コロナウイルス感染症対策のため、会期と内容が変更になる場合があります。当館ホームページをご確認ください。